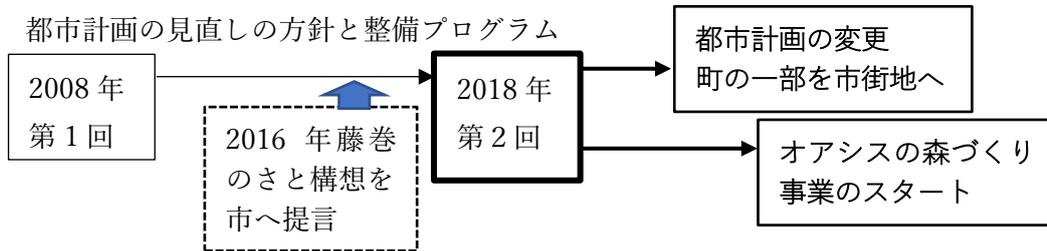


「藤巻のさと構想」と「オアシスの森づくり事業」について

／地域まちづくりアドバイザー 藤森幹人

名古屋市 長期未整備公園緑地の
都市計画の見直しの方針と整備プログラム



【藤巻のさと構想】まちづくりの課題

①著しいインフラ未整備

一部の道路は私道であるため、道路は舗装されず、街路灯もなく、下水道も未整備で、生活に困っているところがある。

②緑地の管理不十分による住環境への影響

緑豊かな環境の一方で、放置された緑地は、突然の倒木や大きな枝の落下が頻発し、歩行の危険、家屋の損壊などの危険が生じています。

また、奥深い緑地は不法投棄の問題や犯罪発生への心配などもあります。

③住民の高齢化とゴーストタウン化の心配

藤巻町は名東区と比べても住民の高齢化が進み、人口は減少し、空き家も増えています。高齢化は未舗装道路等での生活にさらに厳しさを増します。将来居住への不安、未整備な生活環境の影響か。

【藤巻のさと構想】まちづくり方針

①東山植物園に隣接し、周辺の自然と調和した“緑豊かな低層戸建て住宅“、“風致地区のなかの住宅地“といった静かな住環境を好む人々に好まれる“まちづくり”。

②あたかも公園緑地の一画のような藤巻の環境・生活の魅力を生かした“まちづくり”。

③名古屋市民が憩う公園緑地としての役割にも寄与する“まちづくり”。

名古屋市【オアシスの森づくり事業】の目的

民有樹林地をお借りし、その土地を使用させていただきながら、樹林地等の保護、育成を行い、魅力ある森を市民の憩いの場として提供することを目指している。(オアシスの森パンフより)

